

観月祭のご案内

〔日時〕 九月十五日(日)

観月祭 午後五時齋行
奉納行事 午後六時開始

〔入場無料〕

一年のうちで月が最も鮮やかに見える旧暦の八月十五日(新暦九月十五日)は「十五夜」、または「中秋の名月」といわれ、「お月見」に最適な日とされています。高瀬神社では来る九月十五日(日)午後五時から月を愛で、収穫に感謝する「観月祭」を斎行し、その後、午後六時から奉納行事を行います。

今年、天皇陛下御即位を奉祝して、出雲の伝統芸能「大土地神楽」が奉納されます。

名月の下で高瀬の大神様とともに奉納行事をご覧になり、更なる御加護をいただかれていますか。本殿左側の入口からお入りになり、ご参列ください。

なお、参集殿テラスではご神酒・月見団子・湯茶を用意しております(祭儀終了後、お配りします)。

奉納演目

- 一、悪切(大土地荒神社の例大祭で、最初に座を清める前に悪を祓うもの)
- 一、茅ノ輪(茅の輪神事にちなんだもので、観衆を楽しませる要素を取り入れたもの)

名称 大土地神楽(国指定重要無形民俗文化財)

保持者 大土地神楽保存会神楽方

会長 桐山和弘

会員数 三十一名

大土地神楽は、古くは大土地荒神社神主によって舞われていましたが、宝暦年間(一七六〇年前後)には既に素人神楽が舞われ、以後三百年以上途絶えることなく、民衆によって受け継がれてきました。

その舞い振りや奏楽は、大土地荒神社例祭で昔ながらの形で受け継がれており、出雲大社の門前町として、盛んだった芝居興行の影響もあつてか、とかく観衆を意識し、楽しめる所作・演出が随所に見受けられます。現在では、同社例祭・出雲大社例祭への奉納神楽のみならず、県内外でも広く公演されています。

